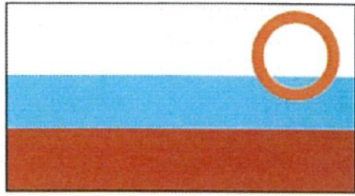
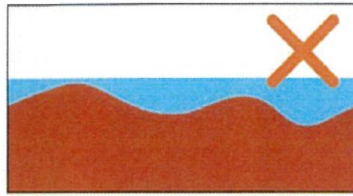


水稲除草剤の上手な使い方

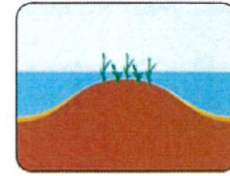
◆代かきはていねいに行い、凹凸が少ない田面にして下さい。



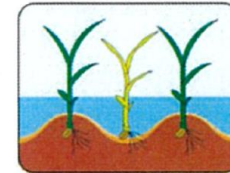
凹凸が少ない田面



凹凸が多い田面



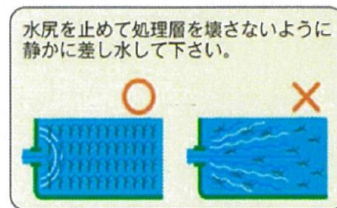
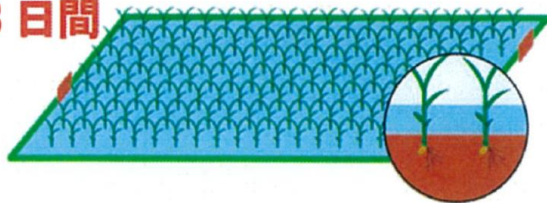
処理層ができず、雑草が局部的に発生します。



浅植・深植になりやすく、薬害発生をまねきます。

処理後は水の出入りを止めて、少なくとも3日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにして下さい。

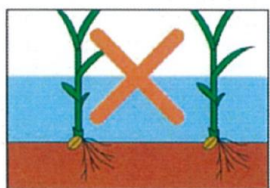
3日間



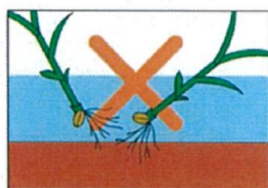
水尻を止めて処理層を壊さないように静かに差し水して下さい。

水深が浅くなった時はすぐに静かに差し水!

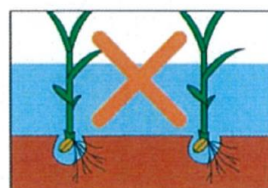
このような水田では薬害を発生する恐れがありますので、使用しないで下さい。



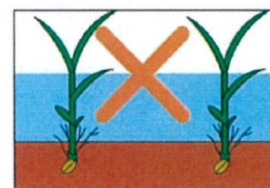
極端な浅水の多い水田



浮き苗の多い水田



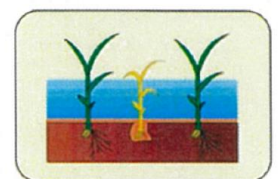
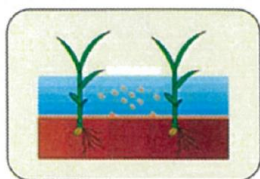
植穴のもどりの悪い水田



根が露出している水田



補植は必ず処理前に行ってください。処理後に補植した稲には薬害が発生する恐れがあります。



根や根際と成分が直接接触すると薬害が発生することになります。